

会 議 録

会議の名称	茨木市建設事業評価委員会
開催日時	令和8年2月6日（金） 午後 1 時 00 分 開会 ・ 午後 2 時 40 分 閉会
開催場所	市役所南館 3 階防災会議室
議 長	【 委員長 】 中谷 祐介（大阪大学大学院准教授）
出席者	【 委 員 】（50 音順） 岡 絵理子（関西大学教授）（リモート出席） 中谷 祐介（大阪大学大学院准教授） 西村 宏史（茨木商工会議所事務局長） 延原 理恵（京都教育大学教授） 細井 雅代（追手門学院大学教授） 【 市 】 足立 光晴（副市長） （建設部） 福田 文彦（建設部長） 中野 明（建設部次長兼建築課長） 北上 勉（建築課主幹兼管理係長） 志田 大地（建築課職員） 内田 健司（下水道施設課長） 参河 祥道（下水道施設課主幹兼計画係長） 河瀬 章布（下水道施設課管理係長） 田中 貴大（下水道施設課職員）
欠席者	なし
事務局職員	建設部建設管理課長、同課 上席主幹、同課 総務係長、係員 1 名
開催形態	公開（傍聴者なし）

<p>議題(案件)</p>	<p>(1)「茨木市地域住宅等整備計画」の事後評価について</p> <p>(2)「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その3)」の事後評価について</p>
<p>配布資料</p>	<p>【資料1】配席図</p> <p>【資料2】委員名簿</p> <p>【資料3】茨木市建設事業評価委員会規則</p> <p>【資料4】茨木市附属機関設置条例</p> <p>【資料5】茨木市審議会等の会議の公開に関する指針</p> <p>【資料6-1】事後評価説明資料「社会資本整備総合交付金事業(市営住宅)」</p> <p>【資料6-2】地域住宅計画「茨木市地域」</p> <p>【資料6-3】社会資本総合整備計画「茨木市地域住宅等整備計画」</p> <p>【資料6-4】事後評価書(案)「茨木市地域住宅等整備計画」</p> <p>【資料6-5】市営住宅の耐震及び改善計画のスケジュール</p> <p>【資料7-1】事後評価説明資料「社会資本整備総合交付金事業(下水道)」</p> <p>【資料7-2】社会資本総合整備計画「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その3)」</p> <p>【資料7-3】社会資本総合整備計画「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その3)(防災安全)」</p> <p>【資料7-4】社会資本総合整備計画「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その3)(重点計画)(防災安全)」</p> <p>【資料7-5】事後評価書(案)「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その3)」</p>

	<p>【資料 7-6】事後評価書（案）「茨木市における総合的な下水道整備の推進（その3）（防災安全）」</p> <p>【資料 7-7】事後評価書（案）「茨木市における総合的な下水道整備の推進（その3）（重点計画）（防災安全）」</p>
--	---

議 事 の 経 過

発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福岡課長	<p>ただいまから令和7年度建設事業評価委員会を開会する。</p> <p>【配布資料確認】</p> <p>当委員会の開会にあたり、足立副市長からあいさつを申し上げる。</p>
足立副市長	<p>【あいさつ】</p>
福岡課長	<p>【当委員会委員、市側出席者の紹介】</p>
各委員	<p>【委員会規則第5条第1項の規定に基づき、委員の互選によって、中谷委員を委員長に選出】</p>
中谷委員長	<p>【あいさつ】</p>
中谷委員長	<p>職務代理に延原委員を指名する。本日の委員の出席状況の報告を、事務局に求める。</p>
福岡課長	<p>会議については、委員会規則第6条第2項により委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないが、本日は5名中5名の委員が出席されているので、会議は成立している。</p>
中谷委員長	<p>会議の公開並びに会議録及び会議資料の公開について、事務局に説明を求める。</p>
福岡課長	<p>【会議の公開について説明】</p> <p>(1) 会議開催にあたっては、個人に関する情報を審議する場合を除き、公開が原則である。</p> <p>(2) 会議資料は、傍聴人に閲覧させ、配布することができる。</p> <p>【会議録及び会議資料の公開について説明】</p> <p>(1) 会議録は、発言内容等を要約したものを公開する。</p> <p>(2) 発言者については、名前を表記する。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
中谷委員長	会議録の公表に当たっては、各委員に事前に内容を確認してもらう。
各委員	事務局からの説明について、各委員に意見を求める。
中谷委員長	異議なし。
中谷委員長	委員会として会議を公開すると決定したので、傍聴者の入室を許可する。
事務局	【傍聴者なし】
中谷委員長	本日の会議について、事業担当課に説明を求める。
北上主幹	【配布資料の確認】 【1. 社会資本整備総合交付金の概要説明】 【2. 茨木市地域住宅等整備計画の事後評価について説明】
中谷委員長	事業担当課からの説明について、各委員に意見を求める。主な審議項目は「目標値の達成状況」、「事業効果の発現状況」、「今後の方針」等である。
西村委員	どれも、長期的に見て必要な工事であり、計画的に進めることが出来ている。 評価指標も100%達成できており適正である。
細井委員	適正に評価されており、評価指標も100%達成されている。 事後評価の目的として、事業の成果を住民にわかりやすく説明することが挙げられていたが、事後評価書をホームページ上で公開されるということか。
北上主幹	そうなる。
細井委員	そのような観点から見ても、評価の文章や内容も適切であると考えます。
中谷委員長	評価指標が100%達成できており評価できる。 住宅の全戸数が371戸ということだが、入居率はどれくらいあるか。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
北上主幹	<p>令和6年度末において、3住宅で約62%となっている。</p>
中谷委員長	<p>入居率が62%とのことだが、この数値は目標数値があってそれを達成していると捉えているのか、それとももっと入居率を上げる必要があると捉えているのか、そのあたりの認識を確認したい。</p> <p>真の効果発現は、実際に入居者がいて初めて発現するものであり、今後の展開として、例えばリノベーションの様な入居率を高める方策を検討していただけたらと考える。</p>
北上主幹	<p>入居率の向上という目的の為ではないが、幅広い世帯に入居していただくための方策として、リノベーション改修などはすでに実施している。</p>
中野次長	<p>入居率に関して補足する。</p> <p>住宅困窮者の入居が公営住宅の本来の趣旨であり、そういった方に情報を知っていただき、困った際に入居していただくものであるため、特段、入居率に関して目標値は定めていない。</p> <p>また、空き住戸のストック活用に関しては、他自治体で様々な利活用の事例があるため、それらを参考に検討を進めていき、まちづくりの一環として活用できたらと考えている。</p>
岡委員	<p>市営住宅は1962年から1980年まで幅広い年度をまたぎ建築がされているが、今回の改修工事は平成30年度から令和6年度の7年間に一挙にされている。</p> <p>その中でも、古く建築されている道祖本住宅1棟～5棟の給排水設備改修工事が、改修工事の後半の年度で実施されているのはどういった理由によるものか。</p>
志田	<p>もともと、当初計画では給排水設備の改修工事というものは予定していなかったが、改修工事の実施期間中に給水管が破断するトラブルがあり、急遽、給排水設備の改修工事が計画に追加された経緯がある。</p> <p>給排水設備改修工事が実施される年度においては、すでに道祖本住宅1～5棟の外壁及び屋上防水改修工事は完了しており、外壁等改修工事を優先して行う必要がある点、外壁等改修工事及び給排水設備改修工事で足場を共有することで経済性が確保できる点を踏まえ、道祖本住宅1～5棟の給排水設備改修工事は後半の年度に実施されることとなった。</p>
中野次長	<p>給排水管の更新について補足説明をする。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
中谷委員長	<p>昭和 30 年代の古い建物があるが、風呂の増築等で住戸改善を実施しており、そのたびに配管等の更新も行っているため、昭和 30 年代からそのまま同じ配管を使い続けているというわけではない。</p> <p>様々な住戸改善が行われてきた中で、今回の計画修繕が行われている。</p> <p>本日の意見を踏まえ、事業担当課において事後評価シートを作成のうえ公表することでよいか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p> <p style="text-align: center;">【暫時休憩】</p>
中谷委員長	<p>引き続き、「茨木市における総合的な下水道整備の推進（その 3）」の事後評価について、事業担当課に説明を求める。</p>
参河主幹	<p style="text-align: center;">【配布資料の確認】</p> <p style="text-align: center;">【茨木市における総合的な下水道整備の推進（その 3）の事後評価について説明】</p>
中谷委員長	<p>事業担当課からの説明について、各委員に意見を求める。主な審議項目は「目標値の達成状況」「事業効果の発現状況」「今後の方針」等である。3つの案件があるため、まずは「茨木市における総合的な下水道整備の推進（その 3）」について各委員に意見を求める。</p>
西村委員	<p>目標値に対して実績値が 100%ということで計画どおりできていると思う。下水道の整備には多額の費用がかかるため、国の交付金を活用し、計画的に進めていただければと思う。</p>
中谷委員長	<p>彩都土地区画整理事業にあわせた整備と未普及地域の整備に分かれているが、どのくらいの割合で整備されたのか。</p>
参河主幹	<p>事業費として大きく占めるのが彩都関連の整備で、推進工法で約 450メートル整備していることもあり、全体事業費の約 7 割を占めている。</p>
中谷委員長	<p>承知した。その他に意見はあるか。</p>
細井委員	<p>国の交付金は全額出してもらえないものではないため、市民が負担する部</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
中谷委員長	<p>分も相当ある。成果を市民に分かりやすく説明するという意味では、事業を達成したと言えるが、その裏には市民の負担分もあるということ意識して実施されたい。社会資本整備総合交付金における成果を示す評価書という意味では問題ないと思う。</p> <p>污水管整備は、効果の発現状況として目に見えるものではないが、着実に整備率という数字で現れているため問題ないかと思う。では、2つ目の案件「茨木市における総合的な下水道整備の推進（その3）（防災・安全）」について各委員に意見を求める。</p>
西村委員	<p>こちらの方も計画的に進められていると思う。特に、緊急交通路の耐震化は優先的にすべきところなので、それが達成できたことはよかったと思う。</p>
中谷委員長	<p>その他はいかがか。指標3の達成率が100%とならなかったが、改築工法の選定に時間を要したということで致し方ない部分もあったかと思う。これに対しての今後の対応としてストックマネジメント計画の第2期を策定されるとのことであるが、すでに完成しているのか。</p>
内田課長	<p>現在、最終の取りまとめを行っている段階である。</p>
中谷委員長	<p>着実に検討されているということで問題ないかと思う。その他はいかがか。なければ、こちらの案件も問題ないため、3つ目の案件「茨木市における総合的な下水道整備の推進（その3）（重点計画）（防災・安全）」について、各委員に意見を求める。</p>
西村委員	<p>こちらも目標値を100%達成されているということで問題ないと思う。雨水対策には多額の費用がかかるとのことなので、計画的に進めていただきたい。</p>
中谷委員長	<p>私も目標値が100%達成されているため問題ないと思う。浸水対策達成率を40.5%から41.5%に進められたということで、この浸水対策達成率の長期的な目標があれば教えていただきたい。</p>
参河主幹	<p>長期的な目標値は定めていないが、雨水基本構想に基づき、浸水被害状況を踏まえ、ため池等の既存ストックも活用しながら、浸水対策の検討や整備を行っている。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
中谷委員長	承知した。その他はいかがか。
延原委員	今回ソフト対策として雨水出水浸水想定区域図を作成されているが、それを市民がどれだけ活用や理解をされているか、そういう取り組みについてお聞かせいただきたい。
参河主幹	雨水出水浸水想定区域図についてはすでに市のホームページで公表しているが、今後、市民に一番身近なハザードマップへ反映する予定である。反映に向けて、危機管理課と連携しており、浸水区域の表示だけでなく、避難所の表示等、よりわかりやすいものにする作業を実施している。
中谷委員長	<p>その他はよろしいか。下水道事業における3つの全ての案件で目標値の達成状況を適切に評価されていると思う。一部、未達成の部分についても次の対策を検討なされているため問題ないと考える。事業効果の発現状況についても、平時の備えという意味でなかなか目に見えないところや、防災力や安全性を高めるといった点を着実に進められているので、事業効果は確実に出ているものだと思う。</p> <p>それでは、本日各委員よりいただいたご意見等を踏まえ、事業担当課において事後評価書を作成の上、公表することでよいか。</p>
各委員	異議なし。
中谷委員長	本日は「茨木市地域住宅等整備計画」、「茨木市における総合的な下水道整備の推進（その3）」について審議したが、いずれも事後評価の手続きは概ね適正に進められており、今後の方策等についても、事業の実施を踏まえたものとなっていることを、当委員会として確認してよいか。
各委員	異議なし。
中谷委員長	それでは、本日の議事は終了とし、進行を事務局へお返りする。
福岡課長	令和7年度の建設事業評価委員会における案件の審議は終了した。当委員会の閉会にあたり、足立副市長からあいさつを申し上げる。
足立副市長	【あいさつ】
福岡課長	それでは、本日の会議はこれをもって終了とする。長時間にわたりご

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	協力をいただき、お礼を申し上げます。 以上